

# 宮城県泉高等学校同窓会 泉陽会会報

第29号

発行 宮城県泉高等学校泉陽会  
泉区将監丁目三九番一  
電話〇三三三七一四二一  
印刷 株式会社 東北堂  
太白区鉤取一丁目番十二号



## 「人のために何かをする 社会のために何かをする」

同窓会長 桂島 晃

公務員合格率の高い某専門学校の副校長先生のお話を聞く機会がありました。人間の生き方を問う深い話でしたので、講演内容の一部を紹介します。

・専門学校の使命は、専門的な知識や技能を身につけさせる、社会に送り出すことであると考えていた。

・しかし、専門的な知識や技能を身につけて卒業させたものの、卒業生が、中々、社会で活躍できないことに気づいた。

・何が足りないかを追及した結果、「人間としての生き方を学ばせていないことに原因がある」ということにたどり着いた。また、学生を、お客様扱いにしているのは、社会に通用する人間には育てられないことを強く思った。

・社会人としてのマナーに欠けていれば、躊躇なく叱り、その意味をしっかりと教える必要があると感じた。

・それから、「生き方教育・人間教育」の講座を開設し、学生に生き方を問う授業を展開した。

・専門学校で、「何で生き方教育なのか?」、最初は疑問視もさ

れたが、実践していくうちに、自分に自信を持って生活する者が増え、学生に著しい人間的な成長がみられるようになった。社会人としてのマナーの基本として、あいさつの仕方や掃除の仕方にも取り組んだ。簡単なことができない者、簡単なことに全力を尽くさない者は、大きな仕事はやれないという考えである。

また、社会人として充実した人生、幸せになるにはどうしたらいいのかを学生と共に突き詰めていった。

その結果、「社会貢献」や「他の人のためになることをすること」が自分を生かすことになり、そのことが自分を幸せにすることに繋がることが気づいた。

企業においても同じ事が言える。人にも与えることのできない会社はいずれ倒産する。客からもらえることはかりを考えると、客ももらえることはかりを考える。利害関係だけでは会社は伸びていかない。また、今の若者は、賃金や勤務条件など会社からもらえないことはかりを考える。そうではなくて、自分

はこの会社のために何ができるのか、何が与えられるかを考え、実行することが大切であり、それが会社の文化を創ることにもなり、会社は発展していくことになる。

人のために何かをする、社会のために何かをするという事は、一見、自分が損をしているように思えるが、長い間には、必ずや自分に幸福をもたらす。「与える者は与えられる」ということである。そういう生き方が大切なのではない。

私は、講演を聴き、価値観が多様化し、生きる座標軸が見えにくくなっている現代、若い世代には、人の在り方や生き方を深く考えてもらい、自分は社会に対して何ができるかを、考えてほしいと思います。



## 「名実ともに英語科を 有する進学校へ」

校長 今野 理一郎

泉陽会（同窓会）の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。また、在校生に對しましても物心両面にわたるご支援を頂戴しておりますことに心より感謝申し上げます。

今年度本校は、創立四十二年目を迎えました。この三月に泉陽会の新会員に加えていただいた三百十四名の卒業生を含め、これまでこの学舎を巣立った同窓生は、一万三千五百四十六名を数えます。

さて、今年度は四月八日新入生二百八十名が入学し、全校生八百四十四名でスタートしました。五月一日、第二十八回泉三校定期戦が泉総合運動場を中心に十三競技二十種目で行われました。その結果、お陰さまで本校は総合優勝を果たすことができました。

平成十年度から総合優勝制が採用されてから通算八年度、しかも、震災により中止した平成二十三年度を挟み、史上初の三連覇という快挙達成でした。

選手諸君の頑張りはもちろん

んですが、生徒会執行部、応援団、チアリーディングを中心に三年生が見事なリーダーシップを発揮し、獅子奮迅の活躍をしてくれました。閉会式で勝利を祝し、全校生徒で声高らかに歌った校歌に私も感動を覚えました。

ところで、本校はここ数年、学習活動や部活動・学校行事などをおして充実した高校生活を送りながら、自己の可能性を切り拓き、希望進路が実現する学校として、地域・中学校・保護者等から高い評価を得るようになりました。これは、創立以来の文武両道の校風に対する期待や、国公立大学の現役合格者数が四年連続で八十名を超えているという、進学実績の躍進などを反映していることと想われます。

また、今年度本校は、普通科一年生「コミュニケーション英語Ⅰ」の授業に関する研究（文科省）と進学・学習指導に関する進学重点校学力向上事業支援校（県教委）の二つの研究指定を受けました。

今後は、これらの事業推進

をとおして、学力を向上させ（とくに英語の総合力を高める）、名実ともに「英語科を有する進学校」を目指します。そのために、各教科・科目の授業の質を高め、指導目標と到達目標を明確にし、生徒の学びの保障に努めたいと考えます。

今あらためて、校歌一番の一節「この大地に息づくか」として、将監の丘に新しい学校の礎を築こうと尊い汗を流された開校当初の先輩諸氏のご労苦に思いを馳せながら、よき伝統と校風を受け継いでいかなければならないと考えます。

その意味で今年度を、十年後に迫った創立五十周年を視野に入れた新たな第一歩の一年にすべく、生徒・教職員一同心を一つにして日々精進を重ねる所存です。

最後になりましたが、泉陽会のさらなるご発展と会員の皆様方の今後ますますのご健勝を心からご祈念申し上げます。

あいさついたします。

# 祝 弓道部女子2選手 宮城県少年女子代表に選抜

## NHK杯 高校放送コンテスト全国大会出場 放送部

### 全国総合文化祭出場 書道部・放送部

#### 部活動の記録

#### 「本国体出場を目指して」

弓道部三年 三浦 春花  
弓道部三年 舟山 紗和

今私たちは宮城選抜として日々練習に取り組んでいます。初めに、弓道の競技方法について説明したいと思っています。弓道競技には近似的競技と遠似的競技の二種類があります。近似的はみなさんが弓道と言われているイメージする一般的な競技方法です。この競技方法では、二十八m先の直径三十六センチの的に向かって矢を放ちます。的のどの部分に中つてもよく、的中すればそれがそのまま的中数として数えられます。国体では、三人制で試合をするので一人四本の計十二本のなかの合計的中数で競い合います。

もうひとつの遠似的競技について説明します。遠似的競技では六十m先の直径百cmの的に向かって矢を放ちます。この的は近似的競技に用いられる的とは異なり、得点制となります。中心から黄色が十色、赤色が九点、青色が七点、黒色が五点、白が三点、的に的中しなかった場合が〇点となります。遠似的競技では的中のみで勝敗は決まらず、中つた得点によって勝敗が決まります。

国体ではまず、八月の末に行われるミニ国体があり、そこでの東北六県の中上位二チームが十月の頭に行われる本国体に出場することができます。東北六県は強豪チームばかりで、ミニ国体といえども勝ち抜くことは難しいと思われまます。ですが私たちはその強豪チームに勝つべく、技術の強化に励んでいます。

#### 「総文祭へ向けて」

放送部三年 木皿 りな

このたび、私は全国総合文化祭の放送、朗読部門に出場するため、長崎県へ行きます。そもそもなぜ私が放送部に入ったかというところ、ただ単に話すことが得意になりたかつたからです。言葉が順序よく組み立てて話すことが苦手だった私は、この部活に入ってから、放送部に入る人たちは、アナウンサーになりたい人、おしゃべりが好きな人、放送機器について詳しく知りたいたい人など様々な人たちが集まっています。そんな中、泉高校の放送部は部員が女子しかないということもあり、とても団結力のある部だと思っています。朗読やアナウンス部門だけでなく、団体戦ともいえるドラマやドキュメント部門でも多くの結果を残しています。先輩後輩の上下関係を乗り越えて作る、八分間のドラマとドキュメント作りは本当に部の絆が深まります。個人の朗読部門では、少しでも先輩たちに近づきたい一心で、ひたすら練習を積み重ねてきました。基礎の滑舌練習を怠らず、先輩や部員、顧問の先生からのアドバイスを大切に、一つずつ自分の読み方の癖を直していきました。そして私は新人戦で最優秀賞を受賞し、総文祭の出場も決まりました。

方々とも交流を深め、楽しく弓道をしていきます。本国体に向けて自分たちの射をしっかりと詰めていき、今できる射を最大限に表現して、まずはミニ国体を勝ち抜いてきたいと思えます!! 応援よろしくお願ひします!!

でもありライバルでもある部員たち、そして応援してくれた皆さんのおかげです。辛いことも悔しいことも打ち明けられる最高の部員たちに出会えて、本当に幸せです。

今回の大会では力を出し切り、更に成長できるように努力します。総文祭へ行く八月は、長崎県に原爆が落とされた月でもありますが、今この貴重な経験を学校の皆さんにお伝えできたらいいなと思います。

私がここまで成長できたのは、顧問の先生、憧れの先輩方、仲間

#### 高校総合体育大会結果報告

弓道		卓球男子		卓球女子		バドミントン男子		バドミントン女子	
男子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射6中	男子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中
女子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中
男子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中
女子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中

ソフトテニス男子		ソフトテニス女子		バレーボール男子		バレーボール女子		バスケットボール男子		バスケットボール女子	
男子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子団体	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中
男子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	男子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中	女子個人	予選 1回目 20射8中 2回目 20射9中

水泳		新体操(女子)		軟式野球		硬式野球	
男子100m平泳ぎ	12'56 予選13位	個人総合	金野 第5位 得点 15750	男子100m平泳ぎ	2'28 予選12位	男子100m平泳ぎ	2'28 予選12位
男子200m平泳ぎ	23'78 予選12位	個人種目別「リボン」	金野 第3位 得点 8050	男子200m平泳ぎ	4'47 予選11位	男子200m平泳ぎ	4'47 予選11位
男子400m自由形	30'17 予選16位	男子100m自由形	30'17 予選16位	男子400m自由形	1'18 予選7位	男子400m自由形	1'18 予選7位
男子50m自由形	30'17 予選16位	男子50m自由形	30'17 予選16位	男子50m自由形	1'33 予選13位	男子50m自由形	1'33 予選13位
女子100m平泳ぎ	13'07 予選13位	男子100m自由形	30'17 予選16位	女子100m平泳ぎ	1'33 予選13位	女子100m平泳ぎ	1'33 予選13位

# 泉高進路状況

## ～泉高生今春も頑張る(平成24年度)～

— 東北大6名をはじめ国公立大学合格者数82、首都圏難関私大も合格者増 —

### 大学合格状況

#### ◆国公立大学

大学名	現役	過卒	大学名	現役	過卒	大学名	現役	過卒
北見工大	1		茨城大	2	1	秋田公立美術大	1	
弘前大	1		宇都宮大	4		国際教養大	1	
岩手大	7	1	千葉大		1	山形県立保健医療大	2	
東北大	6	2	新潟大	1		横浜市立大	3	
宮城教育大	8		岩手県立大	1		金沢美術工芸大	1	
山形大	22	3	宮城大	14	1	広島市立大	1	
福島大	5		秋田県立大	1		合計	82	9

#### ◆私立大学

大学名	現役	過卒	大学名	現役	過卒	大学名	現役	過卒
石巻専修大	4		工学院大	2		東京都市大	1	
仙台大	1		国士館大		4	獨協大		1
東北学院大	171	2	芝浦工大	2	2	明治大	10	4
東北工大	18		上智大		2	明治学院大	1	
東北福祉大	53	3	成城大	4		東京医療保健大	1	
東北薬大	10	1	専修大	2	5	麻布大	1	
宮城学院女子大	41	1	創価大	1		神奈川大	5	
仙台白百合女大	8		玉川大		2	神奈川工科大	4	
東北文化学園大	2		中央大	1	2	相模女子大	3	
尚絅学院大	5		東海大	13	2	昭和音大	1	
酪農学園大	1		東京家政大	1	6	洗足学園音大	1	
秋田看護福祉大		2	東京経大	1		フェリス女学院大	2	
日赤秋田看護大	1		東京工科大	3		立教大		2
東北芸術工科大	6		東京歯科大		1	金沢工大	1	
東京福祉大	1		東京電機大	4	2	中京大	2	
高崎健康福祉大	1		東京農業大		4	大阪経済法科大	1	
神田外語大	1		東京理大	1	1	同志社大		1
千葉工大	1		東洋大	3	2	立命館大		1
上野学園大	1		日本大	7	2	合計	409	58
桜美林大	1		法政大	3	3			

#### ◆短期大学

短大名	現役	過卒	短大名	現役	過卒	短大名	現役	過卒
山形県米沢女短大	5		共立女子短大		1	日本大短大	1	
聖和学園短大	1		創価女子短大	2		立教女学院短大		1
仙台青葉学院短大	2		東京家政短大	1		合計	13	4
大妻女子大短大		2	東京農大短大	1				

#### ◆医療系専門学校

校名	現役	過卒	校名	現役	過卒	校名	現役	過卒
仙台医療センター附属仙台看護専門学校	8		佼成看護専門学校	1		山形市立病院済生館高等看護学校	1	
東北防災看護専門学校	2		石巻赤十字看護専門学校	2	1	仙台医師会附属看護専門学校	1	
東名古屋麻痺リハビリテーション学校	1		仙台徳洲看護専門学校	2		仙台医健専門学校	1	
埼玉県高等看護学校	1		鶴岡市立荘内看護専門学校	1		合計	21	1

#### ◆その他専門学校

校名	現役	過卒	校名	現役	過卒	合計	現役	過卒
仙台理容美容専門学校	1		大原簿記専門学校	1				
宮城調理製菓専門学校	1		神田外語学院	2				
東北文化学園専門学校	1		文化服装学院	1				
東北外語観光専門学校	3		合計	11	0			
東日本航空専門学校	1							

#### ◆就職

企業名	現役	過卒	合計	現役	過卒
宮城県職員	1				
宮城県警察	1				
警視庁	1				
(有)フラワード	1				
合計	4	0			

#### ◆[過去3年間の最終進路状況]

年	大学				短大				専修各種 学校	進学準備	就職				その他	合計	進学率 (大学+短大)				
	国公立 男	国公立 女	私立 男	私立 女	国公立 男	国公立 女	私立 男	私立 女			公務員 男	公務員 女	民間 男	民間 女				男	女	男	女
平成24年度	37	43	68	85	0	4	1	1	2	21	29	18	2	1	0	1	1	0	140	174	239/314
平成23年度	80		153		4		2		23		47		3		1		1		314		=76.1%
平成22年度	43	42	43	90	0	0	0	2	1	16	23	14	0	0	2	1	1	2	113	167	220/280
平成21年度	85		133		0		2		17		37		0		3		3		280		=78.6%
平成20年度	39	38	38	86	0	2	0	3	2	22	20	10	1	0	0	4	2	6	102	171	206/273
平成19年度	77		124		2		3		24		30		1		4		8		273		=75.5%

上の表は本校卒業生の過去3年間における進路決定状況まとめたものです。進学率は76%となりました。国公立大は80名、私立大学には地元を中心に153名が進学しました。

右の表は10年間の大学合格者数の推移です。国公立大学の現役合格者数は、2007年度に82名に達して以降、生徒の国公立大志向も強まりました。ここ4年間での卒業生数に対する国公立大合格の割合は、平均約30%となっています。本年度においてもセンター試験難化し厳しい戦いをしいられましたが、80台を維持しました。国公立大学を第一志望としている者も年々増加傾向にあり、さらに合格率が高まるよう取り組んでいるところです。

	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年
国公立大現役合格者数	46	45	52	82	70	64	89	81	91	82
私立大現役合格者数	377	316	390	426	409	316	293	333	418	409

さて、第1学年「社会人講話」におきましては、同窓会の皆様のご理解とご協力をいただいているところです。生徒達の職業観や進路観の育成の大切な機会となっております。今年度も同窓会から講師の方をご推薦頂ければと思っております。同時に、様々な機会を通して、本校の生徒達が、より高い意識を持てるよう、御指導頂きますようお願い申し上げます。

平成24年度行事報告

平成24年4月 9日 入学式  
 7月 7日 役員会  
 8月11日 総会 (ホテル白萩)  
 泉陽会会報第28号発行  
 平成25年2月28日 同窓会入会式  
 3月 1日 卒業式

平成25年度行事予定 (案)

平成25年4月 8日 入学式  
 7月 6日 役員会  
 8月10日 総会 (ホテル白萩)  
 泉陽会会報第29号発行  
 平成26年2月28日 同窓会入会式  
 3月 1日 卒業式

平成24年度 同窓会収支決算書

【一般会計】 (単位：円)  
 収支対照

収入	支出	残額	摘要
1,205,133	1,168,944	36,189	次年度へ繰越

収 入

項 目	予算額	決算額	比 較		摘 要
			増	減	
会 費	1,054,800	1,056,000	1,200		1,200円×880人
繰越金	149,033	149,033			前年度からの繰越金
雑収入	167	100		67	利息
計	1,204,000	1,205,133	1,133		

支 出

項 目	予算額	決算額	比 較		摘 要
			増	減	
運 営 費	220,000	263,542	43,542		
(会議費)	70,000	186,300	116,300		総会補助、役員会茶菓子代
(事務費)	50,000	30,817		19,183	総会名札、広告料
(渉外費)	35,000	0		35,000	
(通信費)	15,000	6,000		9,000	案内用切手
(印刷費)	50,000	40,425		9,575	会報印刷代
学校行事補助費	240,000	254,402	14,402		
(卒業祝い)	240,000	254,402	14,402		卒業証書ホルダー代
生徒会補助費	100,000	51,000		49,000	遠征費補助(弓道部、放送部、茶道部)
積立準備金	600,000	600,000			50周年記念事業等積立金
予備費	44,000	0		44,000	
計	1,204,000	1,168,944		35,056	

【積立金会計】

既積立額	既積立利息	24年度積立額	計	適 用
6,331,380	1,861	600,000	6,933,241	1年自動継続定期預金

平成25年度 同窓会会計予算書 (案)

【一般会計】 (単位：円)

収入	支出	残額	摘要
1,205,133	1,168,944	36,189	次年度へ繰越

【一般会計】  
 収 入

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
会 費	1,011,600	1,054,800		43,200	1,200円×843名
繰越金	36,189	149,033	112,844		前年度から繰越
雑収入	111	167		56	利息
計	1,047,900	1,204,000		156,100	

支 出

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
運 営 費	285,900	220,000	65,900		
(会議費)	170,000	70,000	100,000		総会、役員会
(事務費)	40,900	50,000		9,100	総会広告料
(渉外費)	25,000	35,000		10,000	慶弔費
(通信費)	10,000	15,000		5,000	切手、はがき代
(印刷費)	40,000	50,000		10,000	会報
学校行事補助費	230,000	240,000		10,000	
(卒業祝い)	230,000	240,000		10,000	卒業記念品
生徒会補助費	100,000	100,000			遠征費補助(全国大会)
積立準備金	400,000	600,000		200,000	50周年記念事業等積立金
予備費	32,000	44,000		12,000	
計	1,047,900	1,204,000		156,100	

【積立金会計】

項 目	既積立額	今年度積立金	今年度積立額
50周年記念事業積立金	6,933,241	400,000	7,333,241

平成二十五・二十六年役員紹介

平成25・26年度泉陽会役員名簿  
 役職 氏名 (回)  
 会長 桂島 晃 (1)  
 副会長 千葉 仁 (1)  
 幹事 菅沢 勇 (1)  
 吉田 恵幸 (7)  
 大久保 博信 (16)  
 監事 金森 從雄 (3)  
 諸橋 辰也 (7)  
 阿部 浩二 (15)  
 庄司 幸男 (1)  
 黒沢 政弘 (2)  
 齋藤 明宏 (2)  
 今野 理一郎 (1)  
 水口 俊彦 (1)  
 佐藤 善則 (1)

平成二十六年  
 総会および懇親会の案内

平成二十六年度は、第八回生(昭和五十八年卒)、第十八回生(平成五年卒)、第二十八回生(平成十五年卒)、第三十八回生(平成二十五年卒)が世話役となり、八月九日(土)にホテル白萩を会場にして行う予定です。詳しくは平成二十六年七月に案内を出します。

一昨年度より同窓会報を泉高校のホームページ上にアップしました。同窓生に会う機会がありましたら伝えて下さい。

事務局 泉高校総務部  
 〒981-3132 泉区将監10-39-1  
 TEL 372-1411